

研究協力のお願ひ

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

抗結核薬による内服治療継続に向けた外来看護の実践

1. 研究の対象および研究対象期間

2025年4月1日から2026年12月31日に昭和医科大学横浜市北部病院で潜在性結核、肺結核、結核性胸膜炎、粟粒結核の診断を受け内服治療を受けた患者さん。

2. 研究目的・方法

研究目的

結核の治療では、決められた期間、薬を継続して服用し、治療を最後まで終えることがとても重要です。途中で薬の服用が止まったり、正しく服用できなかつたりすると、薬が効きにくい菌が出てくる可能性や、治療の効果が十分に得られない可能性があります。また、健康状態の悪化につながることもあります。さらに、そのような菌が地域に広がった場合には、公衆衛生にも影響を与える恐れがあります。当院では、患者さんが治療を継続できるよう、外来において看護師が中心となり服薬支援や多職種・地域保健センターとの連携を行っています。本研究では、これまで当院で行ってきた支援の内容を振り返り、治療を継続するためにどのような支援が有効であったのかを明らかにすることを目的としています。

研究の方法

本研究では、当院で潜在性結核、肺結核、結核性胸膜炎、粟粒結核と診断され、外来で治療を受けた患者さんの診療記録や看護記録などの情報をもとに、これまでに行われてきた服薬支援の内容を振り返って調査します。

研究のために新たな検査や治療を追加することはありません。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年4月30日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・年齢・性別・国籍・支援者の有無・診断名・治療内容・副作用の有無・服薬状況・外来受診状況
- ・医師の診療記録・看護記録・看護計画・カンファレンス記録・服薬支援の内容・治療の継続状況
- ・治療完遂状況

・本研究では血液や組織などの試料は使用しません。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和医科大学横浜市北部病院看護部外来 氏名 高山 鈴香

本研究は上記の医療機関のみで実施し、共同研究機関および研究協力機関はありません。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学横浜市北部病院 看護部/外来

氏名：高山 鈴香

住所：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話番号： 045-949-7133（直通）